

My Town Spirit
Tamatsukuri

玉造



西蓮寺大イチョウ

Contents

玉造町長期総合計画	2
町職員の給与などの状況のお知らせ	6
手をつなごう男との新世紀	6
県知事賞・県農林水産部長賞を	2
ストップ！交通事故	14 13 9

2000

12

No.485

わたくしたちはすてきな人が住み住むとすてきな人になれる玉造町をさがします

町の将来像は…

人と自然が共生したまち—玉造



玉造町 長期総合計画

基本構想編
〈1〉

住民意識調査による貴重なご意見、町内役職員、各種団体などからなる町総合開発委員会における率直な提言や要望、そして町職員からなる策定委員会や専門委員会など…。昨年度にスタートした【玉造町長期総合計画】の策定は、住民をはじめ多くの意向を集約・分析し、さらにも内に組織した策定委員会や専門委員会において作

業を進めてきました。

町総合開発委員会に諮問し答申を得て、十二月定期会で議決され決定しました。

一十一世紀の初頭における町づくりを進める上でその指針となるきわめて重要な計画です。

「広報玉造」では、今月と来月の二ヶ月にわたり計画の概要を掲載いたします。

環境重視・生活優先のまちづくり

まちづくりの基本理念

まちづくりの 方向性

基本理念

玉造町は、これまで「人にやさしいいきいき自然派都市」を将来都市像として、各種施策を推進してきました。これは、住民の日常生活や産業活動が自然環境と結びつき、調和しながら、自然の恵みを享受して生活しているという状態を

目指したものでした。この考え方は二十一世紀のこれからまちづくりにおいても引き継ぐ必要があります。

しかし、現行計画策定以降、環境問題をめぐっては、私たちの身近な生活の場面において様々な問題が顕在化し、住民の健康新生活に影響が指摘されるようになります。

こうしたことから、各種まちづくり施策において、自然の恵みを一方的に享受するだけでなく、自然の回復力・浄化能力などに配

慮し、住民の生活が健康に営まれることを重視すべきであるとの考え方から、「環境重視」「生活優先」をまちづくりの基本理念とします。

『環境重視』とは、水や緑、土、エネルギー資源など、自然は人間生活の前提であり、自然環境を基調として住民生活が営まれ、長い歴史の中で、先人の築いてきた自然環境との共生のシステム、生態系の循環システムとのバランスを重視した生活環境の整備と経済活動支援を進めることです。『生活優

先』とは、従来の経済活動優先の中で重視されてきた効率性や機能性という価値観に偏ることなく、うるおい、やすらぎ、やさしさ、ふれあいなどといった人間の感性も尊重するということです。また、精神的価値を優先する時代を迎え、余暇や生きがいといった自己実現に対する住民のエネルギーを、福祉や健康づくり、環境問題への対応などに生かすために、身近な地域

からの問題解決に向けた取り組みを重視することです。さらに、豊かな住民生活の実現、住み心地のよい地域社会の形成に向けて、住民と行政が協力・連携した住民主体の行動するまちづくりを進めることです。

めざすべき将来像

「人と自然が共生したまち—玉造」

『環境重視』・『生活優先』の基本理念に沿ってまちづくりを進めることでめざすべき方向は、『循環社会の形成』にあります。環境と調和した循環型産業活動の展開、自然の回復力に配慮した開発や水処理、ごみ処理及びリサイクル社会の形成、環境にやさしい生活習慣のための学習活動や自然の復元力を維持していくための環境保全活動の展開、生命の尊厳を重視し、子どもから高齢者まで互いの元気を分け合う福祉社会の実現などにより、玉造町は、『人と自然が共生したまち—玉造』の形成をめざします。

将来フレーム

将来人口

平成二十二年の人口想定は約一四、二〇〇人と想定します。これ

は、現有人口をほぼ維持する人数です。

全国的には、平成十九年(二〇〇七年)から人口が減少基調に入る

ことが予測されています。

しかし、本町では、自然環境と調和した美しい町土の形成と安全な食の提供ができ、活気ある住民活動と学習環境があり、安心して住める保健・医療・福祉環境が整備されることから、自然とのふれあいを求める転入人口やUターン人口を見込んでいます。

基本構想の期間

基本構想の期間は、平成十三年度から平成二十二年度までの十カ年間とします。

個性の創造と基本構造づくり

個性の創造

本町の資源には、人＝コミュニティがあり、自然環境には、霞ヶ浦と農業・漁業、緑豊かな平地林やため池があります。これらの資源をまちの特性として、個性の創造に生かしていきます。

①環境重視のコミニティづくり

町には身近な地域環境を守り、美しいふるさとづくりを進める活動があります。こうした活動が町全域に広がり、環境重視のまちづくりとして住民の誇りとなるよう支援します。

②霞ヶ浦との再会づくり

霞ヶ浦は、住民が水辺にふれあう貴重な資源でした。しかし、高度

成長期における経済優先・利便性追求の中で水質汚濁が進行しました。霞ヶ浦流域市町村による水質

浄化対策も進んでいますが、まだに水質の改善がなされていないため、霞ヶ浦の水辺にふれあう人が少ないのが現状です。このため、下水道事業等なお一層の水質浄化対策を進めるとともに、住民が水辺にふれあう機会の提供や水辺環境の再生・整備などを進めます。

③地域循環型農業の展開

農業は、本来自然環境と調和した産業ですが、生産性のみを追求した中で結果として地力が弱ってきています。本町は、有機肥料供給センター施設の完成により、これを活用した地域循環型農業とあわせ、持続型農業の展開により、安全な食を提供する町としてイメージアップを図ります。

基本構造の強化

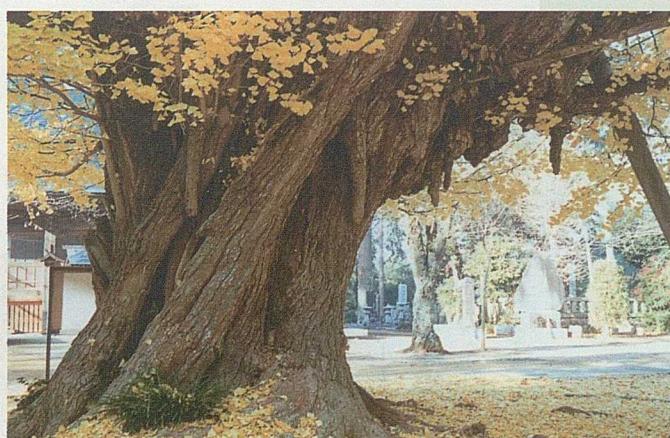
町には、国道が二本南北と東西方向にあり、これらが生活軸及び産業軸となり、土地利用上も重要な役割を担っています。

今後これらの交通軸のより一層の強化を促進するとともに、これらを補完する交通軸の形成を促しています。

南北交通軸の強化については、

台地に広がる平地林は、緑の景観を提供しているとともに、水質浄化や保水力確保の上でも重要な役割を果たしています。この緑の空間を住民や町を訪れる人の憩いの場として提供できるよう整備します。

④緑の景観と憩いの場の整備



基本目標

生活環境整備

「つるおいとやすらぎのまち」

「おいとやすらぎのまちをめぐらし、生活排水処理対策を進める」

産業振興

「交流とネットワークのまち」

循環型農業や資源再生型漁業の展開にあたり、消費者や加工業との交流・ネットワークにより、消費者ニーズにあつた生産と流通体制の整備を促進するとともに、消費者との交流を基調とした観光産業の育成支援、商業力の強化や就労機会の拡大に努めます。

教育文化

「生涯にわたる学びと文化のまち」

循環型農業や資源再生型漁業の展開にあたり、消費者や加工業との交流・ネットワークにより、消費者ニーズにあつた生産と流通体制の整備を促進するとともに、消費者との交流を基調とした観光産業の育成支援、商業力の強化や就労機会の拡大に努めます。

福祉・保健・医療

「ふれあいと健康のまち」

地域での子育て環境の整備にか

基盤整備

「安全で快適なまち」

幼稚園、小中学校教育、社会教育活動の推進の中で、環境教育のまちづくりを進めます。そのため、総合的な学習の時間などを活用して、地域の人材や霞ヶ浦ふれあいランドなどを生かし、生涯にわたる学習活動の促進とその拠点整備を進めます。

住民参加のまちづくり

「いきいきと活動するまち」

まちづくりの主体は住民であり、住民自らが進んで身近な地域での様々な活動を展開することが望まれます。行政は、住民活動を支援するとともに、職員自身も住民の人としてまちづくりへの積極的な参加を促します。

さらに、こうした活動を通じて、地域コミュニティの重要性と広域的な連携・協力の必要性に対する啓発に努めます。

アメリカ合衆国の教育にふれて

～不登校の現状とカウンセリング体制～

玉造中学校 教諭 小野口 吉政

十月十一日（二十七日、文部省教員海外派遣（茨城県第八回）として、中学校の小野口先生がカナダ・アメリカ合衆国の教育事情を視察。「アメリカの不登校の現状」と「カウンセリング体制」という二つのテーマのもとに、研修されたレポートを掲載します。



アメリカの不登校の現状

結論から先に言えば、アメリカ合衆国には不登校は存在しないということでした。なぜなら、憲法では十八歳までは義務教育を受けなくてはならないとされており、それに違反すれば罰せられるからです。ですから、いろいろな理由で生徒が学校に来なくなると、日本のようない家庭訪問したりするのではなく、校長が直接警察に連絡し、警察が親や本人に登校するように促し、それでも登校しないときは、本人や親を罰するのだそうです。また、対人恐怖症のような精神面が原因での不登校に対しても、「それは全く関係なく罰せられます」という返事でした。さすが法社会のアメリカ合衆国だなと思いましたが、それをそのまま日本の教育に受け入れるのは無理があるというものが素直な感想でした。

どは、児童、生徒本人が直接申し込んでくる場合が多いと言っています。日本の場合には、本人が申し込んでくるよりも担任等が児童、生徒を呼びだして相談することが圧倒的に多いということからも、アメリカ合衆国の学校では、カウンセラーの立場とカウンセリングが学校の中で定着していることが分かりました。また、内容に關しても、人間関係についての相談から進路に関する相談まで幅広く行われており、私たちが訪問したときにも、一人の高校生が大学のパンフレットを見ながらカウンセラーと親しく相談している姿が印象的でした。

カウンセラーとの相談した内容は、学校運営に支障がない限り秘密が厳守され、担当に報告されることはありません。担任は、ほとんど生徒指導に関することにはノータッチで、カウンセラーと校長が行つていると言っています。今回の視察を通じて感じたことは、校内のカウンセラーと校長が行つていて、校内での児童生徒のカウンセリング定着につながっているように思われました。

今後、カウンセリングを進めていくにあたっては、まず校内の体制づくり。特にスクールカウンセラーや心の相談員等との連絡をきちんと整備して、児童生徒が気軽に相談できるようなカウンセリング体制づくりをしていくことが急務であることを痛感されました。

最後になりましたが、このような研修の機会を作ってくださいました、町長、教育長、教育委員会、そして玉造中学校の職員に皆様に対し感謝申し上げるとともに、これから本校での教育活動に少しでも生かせるように努力していきたいと思います。



カウンセリング体制

私たちが訪問したガリクソン小学校では一人、デニス中学校でも一人、リッチモンド高校では五人のスクールカウンセラーが配置されており、日々、相談活動をおこなっているということでした。その体制としては、児童、生徒が事前に予約して担当カウンセラーと相談する場合と、事前にカウンセラーが児童、生徒に関する情報を持つていって、特に必要があると思われるときに児童、生徒を呼びだして相談がある場合があります。しかし、ほとん

ひと手をつなごう男と女の新世紀

玉造町女性行政推進委員
委員長
大曾根輝江さん



1日目の基調講演は、A会場において、「女性2000年会議と国内外の動き」という事で、内閣総理大臣官房男女共同参画室長の大西珠枝氏の、ニューヨーク国連本部において「女性2000年会議」の内容と、世界や日本の動きについての報告がありました。続いて、作家落合恵子氏の「午後の居場所で—女の男の風景—」と題して、女も男も従来の窮屈な枠組みを超えて、それぞれに自分の色に輝くには…。ちょっと立ちどまって考えてみましょう、と講演がありました。その中に心に残った言葉は、「人権とは誰の足も踏まないこと、誰にも足を踏ませないこと。」人権から照らし合わせてみると、ともに生きるという権利の壁を阻んでいる原因でもある「性」「人権」「年齢」「健常者優遇」という差別の意識を取り除かねばならないということが印象的でした。

B会場に於いては、「21世紀男女共同参画社会基本法がもたらす、新しい社会の展望」と題して、「男女雇用参画社会基本法」の意味は？この法律の精神を生かすために、私たちは何をしていけばよいか、一緒に考えてみましょうと、日本経済新聞編集委員の鹿島敬氏と、東京都立大助教授の江原由美子氏の講演がありました。

2日目は、10の分野に分かれて、パネルディスカッションと活発な意見交換が行われました。私は日本女性会議においては初の登場という第7分科会「男性 男が語る男女平等～本音で話そう～」に参加しました。社会制度や慣習を男女平等の視点から見直すために、男性からみた女性を本音で語り合う場を設定することにより、お互いの認識を深め合うことを目的として、パネルディスカッションが行われました。会場には男性の参加者もあり、性別役割分担や、会社社会での男性の立場等、活発な意見がかわされました。

すばらしい内容の女性会議に出席でき、次の世紀に向けて私たちは、一人一人が共に人間らしく、それぞれが個性と能力を發揮できる社会作りに努力すべき必要性を迫られた2日間でした。

十一月十日、十一日、三重県津市で、「そもそも男も同じ人間やんか—男女共同参画社会の実現のためめー」というテーマのもと、「日本女性会議二〇〇〇津」が開催されました。町女性行政推進委員の大曾根輝江さんと飯田光子さんが参加し、その成果のレポートをご紹介します。

また、十一月十六日、鹿島勤労文化会館において、「男と女つなごう男と女の新世紀」が開催され、当町の女性行政推進委員・各種女性団体四十六名が参加し熱心に学習しました。

手づくりでこのフォーラムは開催され、実行委員の飯田光子さんと当町の女性行政推進委員による「自然を生かした手づくりのお花」が舞台や演台を彩り、大好評でした。

玉造町女性行政推進委員
副委員長
飯田光子さん



私は未来の日本の担い手である、「子供達の教育」に強い関心を持っていましたので、教育分野を希望していたところ、第4分科会の「子育て」に参加出来ました。先生方のお話の中で、大日向雅美（恵泉女子大学教授）先生の「3歳児神話」のお話を聞いたとき、自分の耳を疑うほどのカルチャーショックを受けました。「3つ子の魂百まで」と言われているように、「出来得るなら子供は母親か、もしくは身内の者が3歳までは責任を持って育てるのがよし」と考えていますが、「それが神話である」というお話です。その3歳児神話のためにどれだけ多くの女性が涙をのんで会社を辞めているか、本当に国益の損失であるというのです。

もうそのようなこと言っている時代に入ったというのです。2025年には、少子化のため400万人の就労人口不足になり、500万人の女性の手が必要となってくることとなれば、現時点において自分たちの考え方を、赤ちゃんを育てるのは人間の「愛情ある顔」であれば母親でも父親でもおばあちゃんでも他人でも良いという認識が必要であると大日向先生は説いております。

その様なことでは「将来ろくな人間にならない」という多くの意見には、乳児130組とその家族1～7歳までを7年間追跡調査（アメリカ）の結果、結論はいたってシンプル、働いている、働いていないは関係ないとの話でした。「女性が働くと育児放棄ではないか」と言われ、肩身の狭い思いをする必要等全く無く、近い将来は男女ともに働き、子供も保育園、学童保育、地域のフォローアップ群団の活躍等に期待を込めて21世紀を迎えねばなりません。」とのことです。新しい考え方も受け入れながら不足の点は補いつつ、一歩一歩前進しなければならないと考えさせられる分科会でした。

2001年は水戸で日本女性会議が開催されます。また、新しい出会いと情報を得て「育自」をしていきたいと考えております。



「町民通信局」活動をしましょう！

あなたの地域の身近な

話題をお知らせください。

総務課秘書広報係まで

TEL 0299 (55) 0111

FAX 0299 (55) 0110

Eメール:t-tukuri@po.net-ibaraki.ne.jp

花と緑の環境美化コンクール 茨城県知事賞

学校林等環境美化コンクール 茨城県農林水産部長賞



今年度の環境美化コンクールにおいて、玉川小学校が見事県知事賞と県農林水産部長賞を受賞しました。

児童と先生方を中心にPTAなど地域と家庭が一体となった努力が実ったもの。

花の種類が適度にあり、生育状況も良くボリューム感があった上、ふれあい活動として全校児童で取り組んだことや、プランターに植えた花を地域に貸出したりしたことなどが評価されました。



玉造町長杯少年剣道大会

12月10日(日)B&G海洋センターにおいて、第18回町長杯少年剣道大会がおこなわれました。町内外から10チームが参加。団体戦・個人戦で戦われ、アリーナいっぱい、少年剣士達の元気いっぱいの声がひびきわたりました。(敬称略)



【団体戦の部】

優勝 現原剣道
準優勝 手賀剣道
第3位 行方少年剣友会
第3位 玉造山王剣道

【個人戦の部】

優勝 小津康路
(手賀剣道)
準優勝 久保木剛史
(延方)
第3位 飯島宏希
(鉢田剣友会)
第3位 関野由扶子
(玉川剣道)

桃浦Aチームが優勝



11月からトーナメントで戦われていた、第45回天竜荘主催ゲートボール大会の準決勝、決勝が12月10日(日)に老人いこいの家ゲートボール場で行われました。
ワザと作戦、そしてチームワークを競う、ハイレベルな戦いとなりました。

優勝

桃浦Aチーム
準優勝
中山チーム
第3位
新田Aチーム
根古屋チーム

町スポーツ少年団駅伝大会



11月26日(日)役場周辺をコースに、町スポーツ少年団駅伝大会が行われました。低学年男女・高学年男女の32チームが参加。全種目のスポーツ少年団員が一同に会し、元気いっぱいに戦われました。

高学年男子 (5~6年生 12km)

優勝 玉造野球A

準優勝 玉川サッカー

第3位 山王サッカーA

高学年女子 (5~6年生 12km)

優勝 玉川ミニバス

準優勝 現原女子複合

第3位 立花ミニバス

低学年男子 (4年生以下 9km)

優勝 山王サッカーB

準優勝 西ファイターズB

第3位 玉川サッカーB

低学年女子 (4年生以下 9km)

優勝 山王ミニバス

準優勝 山王ソフトテニスB

第3位 山王バレーボールB

誕生日おめでとう

ございます



出産

(11月受付分)

ところ	氏名	性別	保護者
緑ヶ丘	高崎由望	女	公明
宿	小津七美	女	茂
緑ヶ丘	橋尚大	男	功
諸井	小沼達義	男	博義
中山	今泉ひな菜	女	健作
上山	風間紫恩	男	忠規
中山	根崎圭二	女	圭二
里	関口桃花	女	和
諸井	宮崎聖樹	男	千春
中山	大曾根愛	女	善治
諸井	羽生希梨	女	圭一

お悔やみを
申し上げます



死亡

(11月受付分)

ところ	氏名	性別	年齢
緑ヶ丘	平野早苗	女	60
根古屋	金塚二三夫	男	55
柄貝	橋本孝	男	82
浜	藤枝あき	女	87
諸井	並木あい	女	80
沖洲	幡谷甚平	男	93
新宿	根本もと	女	81
舟津	磯山フジ子	女	72
羽生	片岡清	男	73
下宿	高橋武雄	男	86
沖洲	石川宗六	男	73
藤井	鬼澤さた	女	84

子育て応援団

保育サポーター養成講座

11月27日~30日(4日間)

「子育てサポート事業養成講座」(主催 (財)21世紀職業財団 共催 玉造町)が農村改善センターを会場に行われました。



これは当財団の行っている「フレーフレー・テレフォン事業」で活躍する保育サポーターとなるため、子育ての知識や心構え、緊急時の対策などを学ぶためのもの。

玉造町近隣市町村をはじめ、遠くは大宮町、瓜連町などから51名が参加し、熱心に保育サポーターとしての学習されました。受講修了生は、来年からサポート事業で活躍されます。

※掲載を見ないときは、届け出の際か
もししくは役場総務課秘書広報係
(☎ 0299-55-0111内線213)へ
ご連絡ください。 敬称略。

湖沼の考現学 ⑨

「霞ヶ浦と生きる知恵を探る」

霞ヶ浦生態系研究所長 浜田篤信

霞ヶ浦に勇氣を与えてくれる八郎湖



漁をすませて

シジミ漁業延命
のための自主的な
操業規制や残存資
源の適地への移植
が行われたもの
以後は再び淡水に
戻って資源は枯渇
した。一方、干拓完

昭和六十二年、防潮の故障で海水が逆流し大発生したヤマトシジミは、十三年後の今も低密度ながら残存しわざかに漁獲された。三〇〇人を越える漁業者が、このシジミ大発生群漁獲のためにマンガや選別機を揃えたが、今はサビついてしまった。数人が、ワカサギの漁を終えてシジミ漁にていった。このシジミは平成元年から漁獲対象となり、数年間は一千万円を超える漁業所得もめずらしくなかつたといふ。渴水の年の夏には水位が下がり、シジミ採りをする家族すれど賑わつたといふ。

シジミ漁業延命
のための自主的な
操業規制や残存資
源の適地への移植
が行われたもの
以後は再び淡水に
戻って資源は枯渇
した。一方、干拓完
成後も漁をすませて

農業及び飲料水として利用されているので、汚濁への住民の関心は高く、官民一体となつた水質浄化活動や広報活動が展開されている。

除草剤追放やゴルフ場建設反対運動、さらには水源地域ヘブナ植栽運動が行われるなど活動な運動が繰り広げられているが、それでも水質回復の兆しは見られない。会う人毎に、「干拓なかりせば」との声が聞かれた。そうしてた中で、八郎湖増殖漁業協同組合では、今年はじめて八郎湖の漁業振興と水質改善策として利水と矛盾しない海水の週上促進についての要望を県に対し行つたといふ。霞ヶ浦も同様の悩みを抱えるが、国際空港建設や高浜入り干拓という試練を乗り越え広大な水面を残した歴史的な意義は大変大きく、生態系再生にむけ勇氣づけられるところである。

了から十二
年後の昭和
五十三年八
月、はじめ
て八郎湖に

はアオコが
大発生、水
質汚濁が顕
在化し現在
に至つてい
る。湖水は



水質浄化に向けて
様々な住民活動も活発である

1月 ふれあいかしんだー	
1月 虹の塔初日の出	1月 6:00
赤口 甘酒サービス	赤口
2火	
先勝	
3水	
4木 御用始め	
友引	
5金 仏滅	
6土 新年初顔合わせ	
7日 大安 町消防団出初め式玉造中9:00	
8月 成人の日	
9火 乳幼児健康相談	9:00
10水 友引 こんには赤ちゃん相談	9:00
11木 先負 三種混合	保9:00
12金 仏滅 リハビリ	保13:30
13土 大安	
14日 赤口	
15月 友引 二歳児歯科検診	保13:00
31水 先勝	
30火 大安	
29月 赤口	
28日 仮滅 総合検診	保7:00
27土 セリまつり	保13:00
26金 先負 公良館まつり	保7:00
25木 友引	
24水 先勝	
23火 仮滅 療育相談	13:30
22月 友引 映画会	13:30
21日 大安 講演会	11:00
20土 先勝 公良館まつり	
19金 赤口 リハビリ	13:30
18木 仮滅 個別相談	保9:00
17水 先負 のびのび学級	保10:00
16火 1月 13:30	子育てボランティア研修会

保 保険相談センター (55)3240 中央公民館 (55)0171 町民運動場 (55)3211
△ 霞ヶ浦ふれあいランド (55)3927 図書館 (55)1495 玉造町役場 (55)0111



町の花(ひまわり)



町の木(さくら)



町の鳥(うぐいす)